

市街地に住む昆虫

昆虫というと自然豊かな場所に多く生息するイメージですが、少し探すと様々な昆虫を観察をすることができます。ここでは市街地でもよく見られる身近な昆虫を紹介します。

【街路樹】



ミンミンゼミ



アブラゼミ

特徴的な鳴き声や色形、抜け殻などで種を見分けられるので初心者には調べやすい。

【家屋近辺】



セグロアシナガバチ



巣の様子

家の軒下などに巣を作る。種によって攻撃性は変わるが、基本的に毒性は強いので刺されないよう注意が必要。

【暗所や湿度の高い場所】



クロゴキブリ



ハマベハサミムシ

集団で生息し、夜行性である。雑食性でなんでも食べる。

尾端に大きなハサミをもつ。落ち葉や石の下を探すとよく見つかる。

【庭や公園】



ナミアゲハ幼虫



クロアゲハ

産卵や吸蜜のため中低木や草花に訪れる。庭木に産卵した場合、卵から成虫まですべてのステージを観察できるチャンスです。

★最近市街地でよく見られるようになった種



キマダラカメムシ

元々台湾～東南アジアに生息する種。江戸時代後期に九州に定着し、近年急速に分布を拡大している。2000年代に関東地方で初めて発見されて以降、サクラやサルスベリなど多くの街路樹につく様子が毎年報告されている。